

NFT を活用したポリメトリックビデオ版デジタルトレーディングカード 「JUDO コレカ（仮）」の実証事業を決定 スポーツ庁「スポーツ×テクノロジー活用推進事業」に参画のキャノン MJ とともに ポリメトリックビデオ技術により柔道の新たな楽しみ方を提供

NFT/ブロックチェーンコンテンツの開発とサービスを行う X クリエーション株式会社(本社：東京都港区、代表取締役：河上 昌浩)は、キャノンマーケティングジャパン株式会社（代表取締役社長 足立正親、以下 キャノン MJ）が参画する、スポーツの場における DX 推進などを支援するスポーツ庁推進の「スポーツ×テクノロジー活用推進事業」において、NFT を活用したポリメトリックビデオ版デジタルトレーディングカード「JUDO コレカ（仮）」の実証事業を実施することを決定いたしました。

本取り組みは、キャノン MJ が公益財団法人全日本柔道連盟（会長：山下泰裕）とともに、柔道の魅力をより多くの人に伝えることを目的に、キャノン株式会社（代表取締役会長兼社長 CEO：御手洗富士夫、以下キャノン）が開発するポリメトリックビデオ技術を活用した新しい楽しみ方や視聴体験を通し、テクノロジーの力でスポーツ産業の成長促進に貢献していくものです。



ポリメトリック映像の制作風景（写真左：撮影シーン 写真右：映像確認の様子）

【背景】

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、スポーツ業界では多くの競技において、大会の中止・延期、競技人口の減少、テレビ放映の減少など、さまざまな問題が顕在化しています。このような状況に対し、スポーツ庁において、令和4年度スポーツ産業の成長促進事業「スポーツ×テクノロジー活用推進事業」が公募されました。キャノン MJ は本事業において、「スポーツの場における DX 推進等支援事業」について提案を行い、「①試合や大会等の場面での新しい観戦体験の楽しみ方を提供する取り組み」「②NFT※などによるファンエンゲージメントを高める取り組み」「③DX を取り入れた団体などの収益構造改革に資する取り組み」の3点が採択され、本事業に向けた施策を全日本柔道連盟とともに2023年3月末まで取り組みます。

※Non-Fungible Token（非代替性トークン）の略。ブロックチェーン技術により、デジタル資産の偽造・改ざんを防ぎ、所有者を明確にすることが可能。

〈令和4年度スポーツ産業の成長促進事業「スポーツ×テクノロジー活用推進事業」〉



近年、DXの導入や最新のテクノロジーを活用した動画配信、遠隔地観戦などの取り組みが拡大するとともに、ブロックチェーン技術を活用した NFT やクラブトークンなどの新しいサービスが創出されています。テクノロジーの活用は、スポーツをより身近に感じることができる機会を提供したり、スポーツの付加価値を高めたりするだけでなく、新たな収益源となるものです。コロナ禍においては、このような動きは急速に拡大してきており、早急な対応が必要となっ

ています。

本事業では、このような状況を踏まえ、スポーツの場における DX やテクノロジーの活用について、国内外における現状や優れた取り組みなどを広く調査するとともに、活用事例創出のための実証事業、デジタル技術の活用により高価値化しているスポーツデータの取り扱いの整理などを行います。このような取り組みを通じ、スポーツ界に再び活気を取り戻し、テクノロジーの力でスポーツ産業を成長促進していくことを目的に事業を行っています。

【「JUDO コレカ（仮）」の実証事業とは？】

NFT を活用したポリメトリックビデオ版デジタルトレーディングカード配布

柔道は日本を代表する競技の一つとして高い人気を誇りながらも、競技人口の減少やテレビ放映の減少といった課題に直面しています。改めて魅力をより多くの人に発信するための取り組みとして、キヤノン MJ がスポーツ庁「スポーツ×テクノロジー活用推進事業」に参画し展開する施策のひとつ、NFT デジタルトレーディングカードの配布において、X クリエーションが展開している『X デジタルトレーディングカードシステム』（特許出願中）を活用した、**NFT デジタルトレーディングカード「JUDO コレカ（仮）」**を制作、配布を実施します。通常版のほか、スペシャルカードとして、NFT を活用した、**著名柔道家のポリメトリックビデオ版の「JUDO コレカ（仮）」**を作成し、「柔道グランドスラム東京 2022」の大会会場の来場特典として配布を予定しています。

配布時期：2022 年 12 月上旬配布予定

配布コンテンツ：井上康生氏／大野将平選手／ウルフ・アロン選手／素根輝選手※順不同

〈柔道グランドスラム東京 2022〉

日程：2022 年 12 月 3 日（土）、4 日（日）

会場：東京体育館

〈ポリメトリックビデオスタジオ-川崎について〉

ポリメトリックビデオは、時間と空間を丸ごとキャプチャする技術です。現実世界の被写体をデータとして取り込み、3D モデル化することで、空間内の自由な位置や角度からの映像生成が可能になります。

キヤノンの「ポリメトリックビデオスタジオ-川崎」は、被写体を囲むように設置した 100 台超のキヤノン製 4K・60fps のカメラを使用しています。キャプチャ範囲が広く、柔道のダイナミックな投げ技も撮影可能です。3D モデルとしてデータが蓄積されているため、制作者は空間内を思いのままに操作し、実在のカメラでは表現できない 2D のポリメトリック映像のほか、AR/VR をはじめとする 3D コンテンツなど、用途に応じた多彩な形式でのサービス提供が可能です。

ホームページ：<https://global.canon/ja/vvs/>



会社名：X クリエーション株式会社 (<https://xcreation.co.jp/>)

所在地：

〈本社〉〒105-0001 東京都港区虎ノ門 1-17-1 虎ノ門ヒルズビジネスタワー14F

〈神保町オフィス〉〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-18-1 千石屋ビル 2F

〈渋谷オフィス〉〒150-0041 東京都渋谷区神南 1-7-8 Laugh Out

代表者：代表取締役／CEO 河上 昌浩

事業内容：ブロックチェーン関連事業

お問い合わせ：<https://xcreation.co.jp/#!/contact>

メール：info@xcreation.co.jp